

とどろき利治の

メン!!

# 国会 一本勝負



《発行元》民主党参議院比例区第5総支部

轟木利治事務所 参議院議員会館 518 号室 Tel:03-3508-8518/Fax:03-5512-2518

こんにちは、とどろき利治です。

6月21日に、第169回通常国会が閉会しました。今号では、この156日間に亘る通常国会でのトピックスを中心にお伝えします。

## 戦後初、〇年ぶりの国会でした

昨秋の臨時国会から衆参ねじれ運営となっていましたが、その本領(?)が発揮され出したのは、今通常国会からでした。新聞紙上では「戦後初」やら、「〇年ぶり」といった文字がさかんに踊りましたが、その中から主な出来事を挙げてみました。

- ①日銀総裁ポストが戦後初の空席に
- ②ガソリン暫定税率が失効し、34年ぶりに本則税率に引き下げ
- ③56年ぶりの「みなし否決」によってガソリン暫定税率が再可決・復活
- ④参院が戦後初めて首相問責決議案を可決
- ⑤衆院が16年ぶりに内閣信任決議を可決
- ⑥法案成立率が20年ぶりの70%台にとどまる

## 法案成立率は低調だったかも知れませんが・・・

前項の70%台という法案成立率は、リクルート事件以来だとのことですが、私は率の低さが政治の質の低さを表しているとは思いません。

というのも、提出される法案は必ずしもすべて完ぺきというわけではないからです。中には後期高齢者医療制度のように、明らかに欠陥を抱えたものもあります。衆参で第一党が異なる現状では、それを承知で政府与党が無理やり成立させるやり方が通用しなくなっただけのことなのです。

法案の成立数を重視するのか、国民生活への影響を考えてじっくり審議・修正するのか、どちらが正しい国会運営なのかは言わずもがなでしょう。

また、今通常国会では「宇宙基本法」や「生物多様性基本法」、「石綿健康被害改正法」など、民主党が提出した法案や政策に政府や与党が歩み寄って成立した法律が14本あります。新聞ではそうした経過は全く報道してもらえませんが、よほどの社

会問題化しない限り、政府は自分に都合の悪い法案をわざわざ作ったりはしませんので、民主党がこのようなアクションを取らなければ、永久に日の目を見ることがなかったかも知れません。

## **4回の質疑・答弁を行いました**

今国会では、環境委員会で3回、ODA委員会で1回、都合4回の質疑・答弁を行いました。

3月15日：大臣所信表明に対する一般質疑（廃棄物・リサイクル）

4月9日：政府開発援助等に関する参考人質疑

5月22日：土壌汚染対策改正法答弁

6月3日：地球温暖化対策推進改正法質疑

今国会では、環境委員会が扱う法案数が少なかった上に、年金や医療、ガソリン税が話題の中心になりましたので仕方のない部分もありますが、次の国会ではもっと質疑回数を増やせるよう頑張ります。

## **秋の臨時国会までに**

8月中旬だとか下旬だとか、すでに秋の臨時国会の開会時期に関する憶測が飛び交っていますが、私としては、それまでの間に、当選以降伺うことができている組合や地域を、できる限り訪問させていただこうと考えております。

大会等を控え、お忙しい時期かとは存じますが、ご対応いただければ幸いです。

今回は以上です